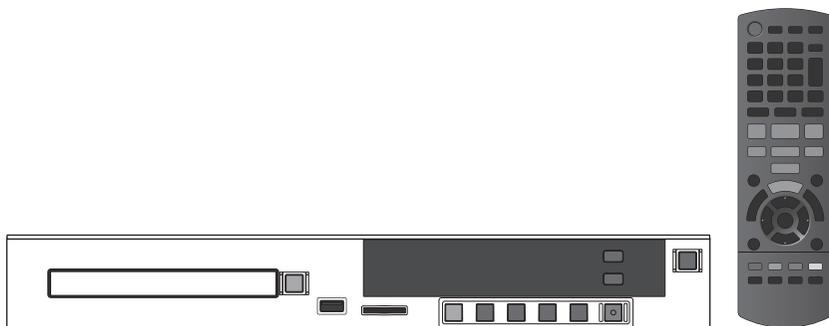


取扱説明書 基本ガイド

デジタル入力レコーダー

品番 DMR-MC500



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 **保証書別添付**

- 本書および PDF の「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書(基本ガイド)とともに大切に保管してください。

本機の詳しい操作説明について

本書は接続と設定およびレコーダーの基本的な操作説明をしています。
レコーダーの詳しい操作説明は、PDF の取扱説明書をご覧ください。
PDF の取扱説明書については <http://panasonic.biz/nwav/> をご参照ください。

接続と設定を行ってください ▶ 9 ページ

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください (→3～6 ページ)

接続

モニターやテレビに出力する	9
●HDMI 端子で出力する場合	9
●SDI 端子で出力する場合	9
映像出力機器から入力する	10
●HDMI 端子で入力する場合	10
●SDI 端子で入力する場合	10
電源コードを接続する	11

設定

設定する	12
●時刻を合わせる	12
●システム機能の設定をする	12
●HDMI 優先モードを設定する	14
●HDMI 出力端子に合わせて設定する	14
●SDI 出力端子に合わせて設定する	14

ご使用になる前に	7
付属品 / リモコンの準備	8
●付属品	8
●リモコンの準備	8
本書内のマーク表示について	15
記録できるディスクについて	16
●記録したディスクを他の機器で再生するには?	18
本機で記録できるようにする (フォーマット)	19
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去	21
ファイナライズ	22
別売の USB ハードディスク (USB-HDD) について	23
●推奨 USB-HDD について	23
●接続する	23
●取り外しについて	23
●フォーマットする	23

録画

録画する	24
●録画中のいろいろな操作	25
●録画しながら再生する	25
●録画時の便利な機能	25

録画モードについて	26
記録の制限について	27

再生

再生する	29
●録画した番組を再生する	29
●撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を再生する	29
●録画一覧について	30
●再生中のいろいろな操作	31
消去する	33

ダビング

ダビングについて	34
ダビングする	35
●かんたんダビング	35
●詳細ダビング	37
●ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする	39
ダビング時の動作について	41
●高速でダビングできる場合	42
●高速でダビングできない場合 (画質変更ダビングになる場合)	42
録画した番組を M2TS ファイルとして USB 機器に書き出す	43
録画した番組を MP4 として書き出す (持ち出し番組)	44
●持ち出し番組を作成する	44
●SD カード / USB 機器に書き出す	45
●書き出した番組を確認する	46

便利機能

DVD-Video 形式でダイレクト録画する (びったり録画)	47
編集する	48

必要なとき

取り扱いについて	49
著作権など	51
保証とアフターサービス (よくお読みください)	53
さくいん	54

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

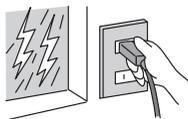
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

警告

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない



接触禁止



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

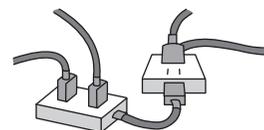
メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

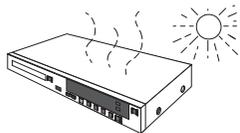


そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 注意

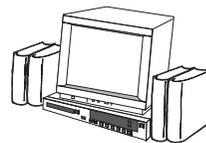
異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない



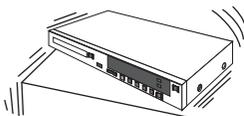
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない

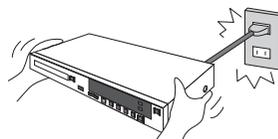


- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとする、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する



けがの原因になることがあります。
●特にお子様には指はさみ注意 ご注意ください。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

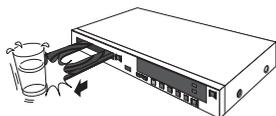
長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

⚠ 注意

機器の前にもものを置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができます。またトレイ制御を「入」に設定すると、ディスクへ録画中にディスク残量がなくなると、自動的にディスクトレイが開きます。ディスクトレイが開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする



お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいいため、急に体調が悪くなる場合があります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する



そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない



病状悪化の原因になることがあります。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる



長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

ご使用になる前に

本機の設置について

- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
 - 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
 - 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
 - 不安定な場所に設置しない。
 - 重いものを上に載せない。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約2～3時間）、電源を切ったまま放置してください。

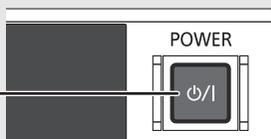
本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときには、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

[POWER 〇/|]
を3秒以上押す



本機の電源が切れます。

故障かな!? と思った場合 →PDF の取扱説明書*
145 ページをご覧ください。

* PDF の取扱説明書については
<http://panasonic.biz/nwav/> をご参照ください。

本機を廃棄 / 譲渡するときは

49 ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

本書内の表現について

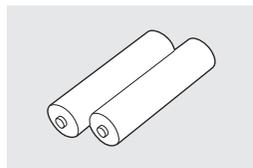
- 本書内で参照していただくページを (→○○) で示しています。
- 本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。
- 本書ならびに本機では、録画やダビングした映像・音声のことを「番組」と表現しています。
- 本書ならびに本機では、59.94i を 60i、59.94p を 60p と表現しています。

付属品 / リモコンの準備

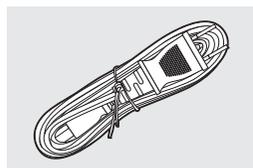
付属品



リモコン (1 個)
N2QAYB000908



リモコン用乾電池 (2 本)
単 3 形乾電池

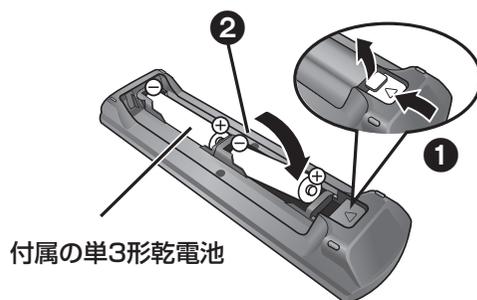


電源コード (1 本)
K2CA2YY00217

- 電源コードキャップ*および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2014 年 10 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

リモコンの準備

リモコンに電池を入れる



- \oplus \ominus を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。
- 本機のリモコン受信部に向けて、まっすぐ操作してください。

HDMI 端子で出力する場合

接続例)



以下の設定を行ってください。

- 「HDMI 優先モードを設定する」(→14)
- 「HDMI 出力端子に合わせて設定する」(→14)

お知らせ

- HDMI ケーブルを用いて接続する場合は、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- 以下の信号は出力できません。
 - ・ HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツ

SDI 端子で出力する場合



以下の設定を行ってください。

- 「HDMI 優先モードを設定する」(→14)
接続する出力端子が SDI 出力端子のみの場合は、「切」にすることをお勧めします。
- 「SDI 出力端子に合わせて設定する」(→14)

お知らせ

- BNC ケーブル (市販) は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。
- HD-SDI で出力できます。
- SDI THROUGH 端子に接続すると、SDI 入力端子から入力された信号のまま出力することができます。出力したい場合、「スルーモード設定」を「有効」にしてください。(ただし、電源コードを電源コンセントから抜いている場合、出力されません)
- 以下の信号は出力できません。
 - ・ HDMI 入力 / アナログ入力からの著作権のあるコンテンツ
 - ・ **BD-V** **DVD-V** **SD** 著作権のあるコンテンツ
 - ・ コピー制限のある番組
 - ・ **CD**
 - ・ DLNA 機能を使った再生

HDMI 端子で入力する場合

接続例)

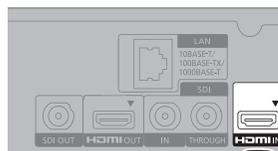
映像出力機器



DVI出力



本機背面



HDMI IN

例) DVI-HDMI 変換ケーブル(市販)

お知らせ

- HDMI ケーブルを用いて接続する場合は、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

SDI 端子で入力する場合

映像出力機器



SDI出力



本機背面



SDI IN

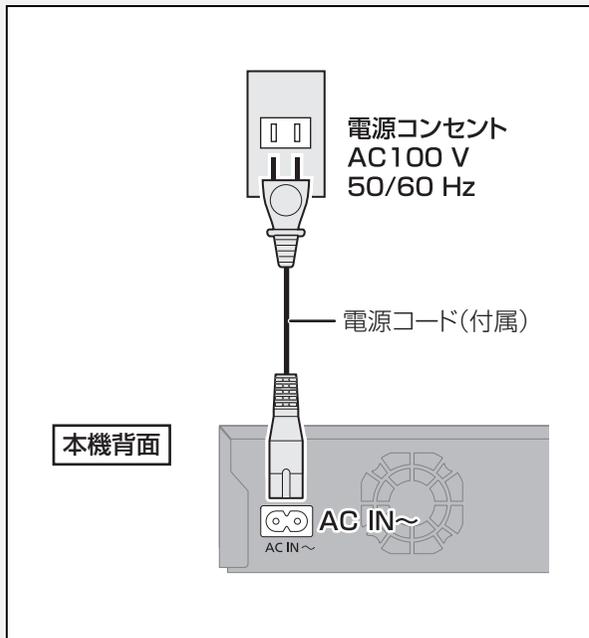
BNC ケーブル(市販)

お知らせ

- BNC ケーブル (市販) は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。
- SD-SDI/HD-SDI で入力できます。

接続3 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



⚠ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

設定する

時刻を合わせる

本機は時刻を合わせて工場出荷されていますが、正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に時刻を確認し、時刻を合わせてください。

1 電源^oを押して、電源を入れる

- 本体の [POWER ^o/I] を押して、電源を入れることもできます。

2 初期設定^oを押す

3 「設置設定」を選び、決定^oを押す

4 「時刻合わせ」を選び、決定^oを押す

5 各項目を選び、設定する

- 時刻は 24 時間表示です。



6 決定^oを押す

- 時計が動き始めます。

お知らせ

- 時刻に誤差が生じる場合がありますので、ご使用前に時間が合っているか確認してください。

システム機能の設定をする

1 初期設定^oを押す

2 「設置設定」を選び、決定^oを押す

3 「システム機能」を選び、決定^oを押す

4 設定項目を選び、決定^oを押す (→下記へ)

5 設定内容を変更する

自動チャプター作成

自動チャプターモード

録画時に指定時間ごとに自動的にチャプターを作成します。

チャプター間隔

「自動チャプターモード」が「入」時に、自動的にチャプターを作成する間隔を設定します。

(15分、30分、60分から選べます)

録画機能設定

録画動作設定

(ディスクは **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC**

-R AVCREC に記録可能)

通常録画

選択中のドライブ (HDD または BD) に録画します。

HDD/BD 同時録画

HDD 選択状態で、**[録画 ●]** を押した場合に、HDD とディスクに同時に録画します。ディスクへの録画が継続できなくなった場合でも、HDD への録画は継続します。ただし、HDD の容量がなくなったなどで HDD への録画が停止した場合、ディスクへの録画も停止します。

- 予約録画時、HDD/BD 同時録画は実行されません。

エンドレス録画

HDD に録画し続けます。

24 時間ごとに約 5 分間のシステムリセットを行います。システムリセットの開始時刻は、「システムリセット時刻設定」で設定できます。

- 録画時間が約 24 時間で 1 番組になります。
- 録画先の記録可能時間が選択中の録画モードで 24 時間より少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。
- 消去したくない番組は、プロテクト設定 (→48) を行ってください。
- 予約録画は実行されなくなります。
- 「自動消去」は「有効」にはできません。

システムリセット時刻設定

24 時間ごとに約 5 分間のシステムリセットを行う時刻設定をします。

システムリセット実行後、本機は自動で電源「切」になったあと、電源「入」になります。

自動消去

「有効」に設定すると、HDD の記録可能時間が 1 倍録モードで 24 時間 (約 300 GB) より少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。

- 選択中のドライブが HDD 時で録画停止時に自動消去を実行します。
- 消去したくない番組は、プロテクト設定 (→48) を行ってください。

タイムスタンプ

「入」に設定すると、録画番組の映像信号にタイムスタンプ (年 / 月 / 日 時 : 分 : 秒) を重畳 (重ね合わせる) して記録します。タイムスタンプは削除できません。

- 録画中の映像上には、表示されません。

Ⓧ タイムスタンプ「入」時の画面表示について (→32)

MP4 自動作成

「入」に設定すると、電源「切」中に自動的に MP4 を作成します。ただし、「入」に設定する前に録画済みの番組は自動的に変換しないため、録画一覧から持ち出し番組を作成してください。

以下の番組は変換されません。

- ・著作権保護された番組
- ・ディスクに記録した番組

トレイ制御

ディスクへ録画中にディスク残量がなくなると、自動的にディスクトレイが開きます。

以下の操作中の時は、トレイ制御が実行されません。

- ・予約録画中
- ・ディスクトレイをロックにしている

HDMI 優先モードを設定する

(HDMI 出力端子・SDI 出力端子接続時)

HDMI 出力端子または SDI 出力端子に接続する場合、以下の設定を行ってください。

出力する映像を HDMI 出力端子と SDI 出力端子のどちらを優先するか設定します。

- 1 初期設定 を押す
- 2 「テレビ / 機器の接続設定」を選び、決定 を押す
- 3 「HDMI 接続」を選び、決定 を押す
- 4 「HDMI 優先モード」を選び、決定 を押す
- 5 「入」または「切」を選び、決定 を押す

•「入」に設定すると、「HDMI 出力解像度」に合わせて信号を出力します。SDI 出力端子に接続した機器が HDMI から出力される解像度に非対応の場合、SDI 出力端子から出力されません。

「HDMI 出力解像度」が「1080p」「480p」の場合、SDI 出力端子から出力されません。

•「切」に設定すると、「SDI 接続」の「出力解像度設定」(→右記)に合わせて信号を出力します。

HDMI 出力端子に合わせて設定する

HDMI 出力端子に接続する場合、「HDMI 優先モード」(→上記)を設定したあと、「HDMI 音声出力」の設定を行ってください。

- 1 初期設定 を押す
- 2 「テレビ / 機器の接続設定」を選び、決定 を押す
- 3 「HDMI 接続」を選び、決定 を押す
- 4 「HDMI 音声出力」を選び、決定 を押す
- 5 「入」または「切」を選び、決定 を押す

•「切」に設定すると、HDMI 出力端子から音声は出力されません。

SDI 出力端子に合わせて設定する

SDI 出力端子に接続する場合、「HDMI 優先モード」(→左記)を設定したあと、以下の設定を行ってください。

- 1 初期設定 を押す
- 2 「テレビ / 機器の接続設定」を選び、決定 を押す
- 3 「SDI 接続」を選び、決定 を押す
- 4 設定項目を選び、決定 を押す (→下記へ)
- 5 設定内容を変更する

出力解像度設定

SDI 出力端子から出力する映像の解像度を設定します。

•「720p」の場合、720p 以外の映像は「1080i」で出力します。

音声出力設定

SDI 出力端子から音声を出力するか設定します。

•「切」に設定すると、SDI 出力端子から音声は出力されません。

•「入」に設定すると、HDMI 出力端子からの音声はダウンミックス 2ch の PCM 音声になります。

本書内のマーク表示について

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク	ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD	DVD ビデオ	DVD-V
BD-RE *	BD-RE	CD	CD
BD-R *	BD-R	SD カード	SD
BD ビデオ	BD-V	USB-HDD	USB
DVD-RAM	RAM	USB 機器	
DVD-R	-R		
DVD-R DL			
DVD-RW	-RW		

※ DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
 - ・AVCREC 方式の場合 : 例) **RAM AVCREC** **-R AVCREC**
 - ・VR 方式の場合 : 例) **RAM VR** **-R VR** **-RW VR**
 - ・ビデオ方式の場合 : 例) **-R V** **-RW V** (ただしファイナライズ後は **DVD-V**)
- ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクや SD カードの場合は、**AVCHD** と表示
- ビデオカメラなどで撮影した動画 (MP4) が記録された SD カードの場合は、**MP4** と表示

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録可能なディスク	記録方式
BD-RE		BD-RE : Ver.2.1(1層/2層)、Ver.3.0(3層)に対応した2倍速メディアまで	—
BD-R		BD-R : Ver.1.1/1.2/1.3(1層/2層)に対応した6倍速メディア、Ver.2.0(3層/4層)に対応した4倍速メディアまで	—
DVD-RAM		Ver.2.0/2.1/2.2に対応した5倍速メディアまで	AVCREC方式
			VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)
DVD-R		DVD-R : Ver.2.0/2.1に対応した16倍速メディアまで	AVCREC方式
			VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)
DVD-R DL (片面2層)		DVD-R DL : Ver.3.0に対応した8倍速メディアまで	ビデオ方式 (DVDビデオ規格)
DVD-RW		Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで	VR方式 (DVDビデオレコーディング規格)
			ビデオ方式 (DVDビデオ規格)

●8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

	記録できるコンテンツ	記録できる画質録画モード	フォーマットは？(→19)	備考
	映像 写真	ハイビジョン画質 1倍録 1.5～15倍録	必要	<ul style="list-style-type: none"> DL、BDXL™にも記録できます。 カートリッジ付きのBD-RE (Ver.1.0)の記録や再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません) 2014年10月現在、BD-R(片面4層)は発売されていません。
	映像 写真	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	<ul style="list-style-type: none"> カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。(TYPE1は使えません)
	映像 写真	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要 (データ用ディスクの場合、フォーマット必要)	
	映像	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	
	映像	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
	映像	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要	<ul style="list-style-type: none"> コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。
	映像	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
	映像	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	<ul style="list-style-type: none"> コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。

●DVDの記録方式は、本機でフォーマット(→19)することで設定されます。



こんなとき
どうしたらいいの？

記録したディスクを他の機器で再生するには？



BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できない場合があります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- 1 ～ 15 倍録モードの番組や、本機に取り込んだ動画 (AVCHD、MP4) は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
 - ・DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
 - ・BDXL のブルーレイディスクは、 右記のロゴが付いた機器で再生できます。



以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- 記録したディスクの再生に対応
- 記録したディスクの記録方式の再生に対応

・AVCREC 方式の場合：

対応機器には右記のロゴが付いています。

対応機器以外で使用しないでください。

ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

[R] はファイナライズ (→22) が必要です。

・VR 方式の場合：

VR 方式の再生に対応している必要があります。

・ビデオ方式の場合：

記録後にファイナライズ (→22) が必要です。

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。
- DVD の VR 方式やビデオ方式の場合、本体の [REC]、リモコンの [録画 ●] でのディスクへの直接録画はできません。ディスクに直接録画する場合は、「DVD-Video 形式でダイレクト録画する (びったり録画)」 (→47) を行ってください。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード



フォーマット
すると



そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容は
すべて消去され元に戻すことができま
せん。（パソコンデータなども含む）
すべて消去してよいか確認してから
行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクト
を設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要場合があります。
記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→18）

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
BD-RE BD-R	—	ハイビジョン画質	1倍録 1.5～15倍録	必要	記録方式の設定は ありません。
	AVCREC方式	ハイビジョン画質	1.5～15倍録	必要	
RAM	VR方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	— (ディスクによる)	
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。			
	AVCREC方式	AVCREC方式はありません。			
-R	AVCREC方式	ハイビジョン画質	1.5～15倍録	必要	
	VR方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	不要	コピー制限のある 番組は記録できま せん。
-RW	AVCREC方式	AVCREC方式はありません。			
	VR方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	コピー制限のある 番組は記録できま せん。

本機で記録できるようにする（フォーマット）（続き）

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

1 **スタート** を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

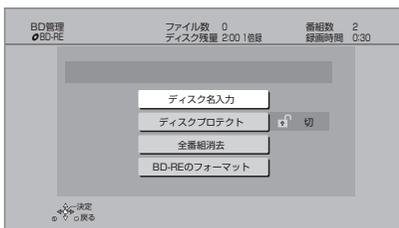
3 「ブルーレイ（BD）/DVD」または「SD カード」を選び、**決定** を押す

4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、**決定** を押す

- 未使用の **-R** を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。（→手順 6 へ）

5 フォーマットの項目を選んで、**決定** を押す

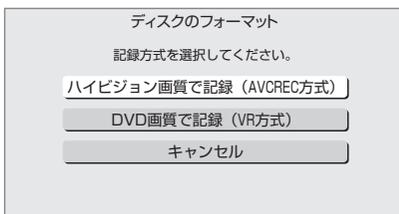
例) **BD-RE**



6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVDの場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) **RAM**



お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。
- SD** 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- R** 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(→21) を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW** 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD** フォーマットは「HDDのフォーマット」で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

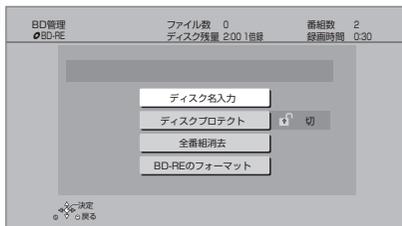
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -RW

(ファイナライズしたディスクではできません)

- 1 **スタート** を押す
- 2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す
- 3 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、**決定** を押す
- 4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、**決定** を押す
- 5 操作したい項目を選んで、**決定** を押す
(→ 下記へ)

例) **BD-RE**



ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM -R -RW

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R V -RW V

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



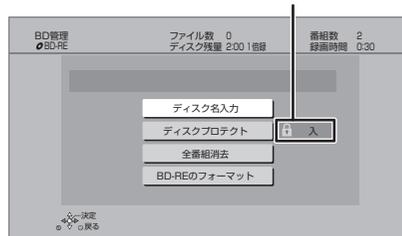
ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

- 6 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定** を押す

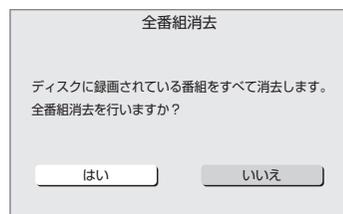
プロテクト設定すると「**入**」が表示



全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

例) **RAM**



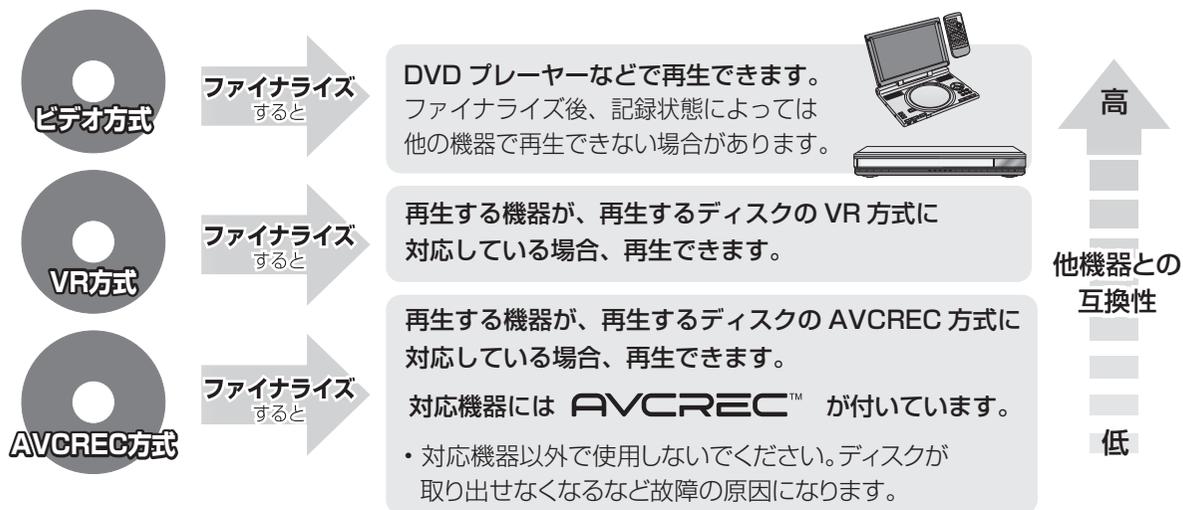
- 6 「はい」を選び、**決定** を押す
- 7 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- **BD-RE** **RAM** 写真は消去されません。
- **BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。



21 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R V **-RW V**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

6 お好みの背景を選び、**決定** を押す



● トップメニュー内に表示される画像 (サムネイル) は変更できます。

他の DVD 機器再生 (ファイナライズ) 他の BD 機器再生 (ファイナライズ)

-R **-RW** **BD-R**

6 「はい」を選び、**決定** を押す

7 「実行」を選び、**決定** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- **-RW V** フォーマット (→19) すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- **-RW VR** 「ファイナライズ解除」(→ 下記) を行うと、記録や編集ができます。
- **BD-R** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW VR

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

6 「はい」を選び、**決定** を押す

7 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

録画する

HDD

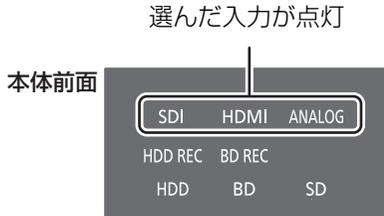
BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC

新品のディスクに録画する場合は、フォーマットをしてください。(→19)

RAM -R の場合はフォーマット時に記録方式をAVCREC方式に設定してください。

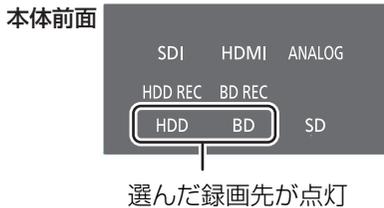
1 SDI HDMI アナログ を押して、入力を選ぶ

- 本体の[INPUT]を押して、入力を選ぶことができます。



2 HDD BD を押して、録画先を選ぶ

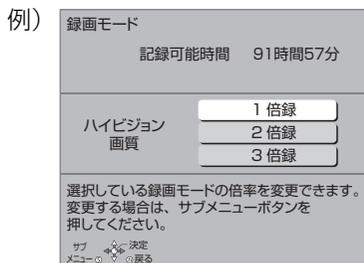
- 本体の[HDD/BD/SD]を押して、録画先を選ぶこともできます。



3 録画モード

M を押して、録画モードを選ぶ

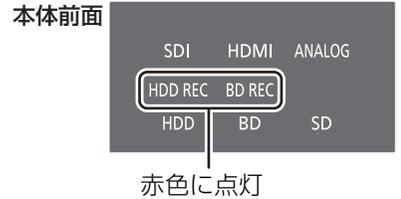
- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。



- [サブメニュー]を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(→26)

4 録画 を押す

- 本体の[REC]を押して、録画を開始することもできます。



録画を止めるには

- [■ 停止]を押す
(本体の[STOP]を押す)

記録学習を実行するには

- 録画前に[|| 一時停止]と[■ 停止]を5秒以上押す(本体の[PAUSE]と[STOP]を5秒以上押す)
- ディスクに録画する場合、先頭の数秒間が録画されないときがあります。録画前に記録学習を実行すると、ディスクに記録するための準備が行われ先頭から録画できるようになります。
- 記録学習中は、画面上に「録画準備中です。しばらくお待ちください。」、本体表示窓に「PREP」が表示されます。
- 1枚のディスクに、繰り返し記録学習をすると、数十回で記録できなくなる場合があります。

録画番組のタイトル名について

録画番組のタイトル名は、「録画開始時刻」になります。
例) 2014年3月31日8時48分15秒に録画開始した場合
20140331-084815

タイトル名を変更するには

番組名編集でお好みの名前に変更することができます。(→48)

お知らせ

- 録画モードと記録時間の倍率について (→26)
- 録画中は予約録画が実行されません。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 「録画動作設定」が「エンドレス録画」(→13)のときは、ディスクに直接録画できません。
- タイムスタンプ (→13) を「入」にして録画すると、画面表示 (→32) は表示されたままになります(「画面表示動作 [オート]」が「入」の場合)。表示を消したい場合は[画面表示]を数回押ししてください。

録画中のいろいろな操作

録画を止める

 **停止** を押す

- 本体の [STOP] でも停止します。

一時停止する

 **一時停止** を押す

- 本体の [PAUSE] でも一時停止します。
- もう一度押す、または [録画 ●] を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。
- 「HDD/BD 同時録画」(→13)で HDD とディスクに同時録画中は、一時停止できません。

録画中にチャプターマークを作成する

 **黄** を押す

- 本体の [REC] でもチャプターマークを作成できます。

録画しながら再生する

追っかけ再生：

HDD に録画中の番組を再生します。

同時録画再生：

録画中に録画済みの番組を再生します。

ただし、ディスク録画中は、ディスクの再生はできません。

1  を押す

2 **番組を選び、決定** を押す

録画時の便利な機能

■ **通常録画 (→13)**

選択中のドライブ (HDD または BD) への録画が可能になります。

■ **HDD/BD 同時録画 (→13)**

HDD とディスクに同時に録画することができます。

■ **エンドレス録画 (→13)**

HDD に録画し続けることができます。

■ **自動消去 (→13)**

HDD の記録可能時間が少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。

■ **トレイ制御 (→13)**

ディスクへ録画中にディスク残量がなくなると、自動的にディスクトレイが開きます。

録画モードについて

録画モード	1 倍録	1.5 ~ 15 倍録	XP・SP・LP・EP	FR
画質	ハイビジョン画質 入力データを圧縮 ^{※1} して、ハイビジョン映像(24 Mbps)で記録	ハイビジョン画質 入力データを圧縮 ^{※1} して、ハイビジョン画質で長時間記録	DVD画質 DVDと同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	—	← 高画質 長時間 →	← 高画質 長時間 →	—
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC	RAM VR -R VR -R V ^{※2} -RW ^{※2}	

※1 MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※2 **-R V** **-RW V** コピー制限のある番組は記録できません。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブなど、動きや明るさの変化が激しい映像を長時間の録画モード(4倍録～15倍録)で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、1倍録や1.5倍録など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

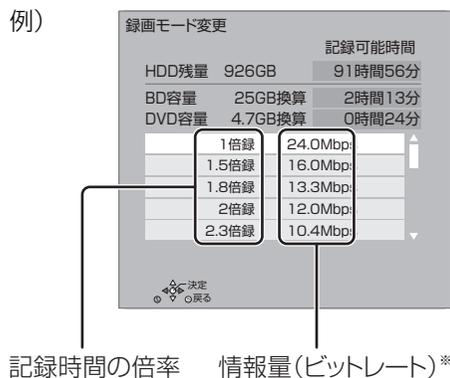
DVD (AVCREC 方式) に 1 倍録モードで記録する場合

録画やダビング時に1倍録モードを選択できますが、実際には1.5倍録モードで記録します。

HDD/BD 同時録画 (→13) 設定時は、1倍録モードで録画できません。

録画モードと記録時間の倍率について

例)



ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像を1倍録モード(24 Mbps)で録画した場合との比較を表しています。

記録の制限について

コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD やブルーレイディスクの場合は **1D** を表示します。

DVD の場合は **xD** を表示し、ダビングや移動はできません。

(録画禁止信号のある番組は録画できません)

1D の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。(BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません)



- プロテクト設定 (→48) されている **1D** の番組はダビングできません。

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」に従って記録します。**-R V** **-RW V** へ記録するときに有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」に従って記録します。

480i の映像を 1 ~ 15 倍録モードで記録するときに有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
 - ・HDMI 入力/アナログ入力から録画
 - ・ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

8 時間以上録画した番組の制限

- 番組結合、録画モードの変換はできません。

記録の制限について (続き)

入力信号と出力される解像度について

入力		出力	HDMI	SDI ^{※3}	アナログ
HDMI	720 × 480i	●「HDMI 優先モード」が「入」時 「HDMI 出力解像度」に依存 ^{※2}	●「HDMI 優先モード」が「切」時 「SDI 接続」の「出力解像度設定」 に依存	1080i	480i
	720 × 480p			1080i または 720p	
	1280 × 720p				
	1920 × 1080i			1080i	
	1920 × 1080p				
SDI	720 × 480i ^{※1}	●「HDMI 優先モード」が「切」時 「SDI 接続」の「出力解像度設定」 に依存	●「HDMI 優先モード」が「切」時 「SDI 接続」の「出力解像度設定」 に依存	1080i または 720p	480i
	1280 × 720p			1080i	
	1920 × 1080i				
アナログ	720 × 480i			1080i	

●30p、24p の映像は入力できません。

※1 アスペクト比は 16:9 で出力されます。

※2 「HDMI 優先モード」が「入」で「HDMI 出力解像度」が「オート」の場合、接続機器の表示能力に依存します。

※3 「HDMI 優先モード」が「入」で「HDMI 出力解像度」が「480p」または「1080p」の場合、出力されません。（「オート」設定時で HDMI 出力が 480p、1080p の場合も出力されません）

多重音声の記録について

主音声と副音声を含んだ二重音声の番組などを録画するときは、設定により記録される音声異なります。

例えば、日本語と英語の2か国語番組を記録する場合

記録する操作	記録音声	記録先	記録できる音声
アナログ入力 / HDMI 入力 / SDI 入力 からの録画 (ぴったり録画含む)	二重音声 ^{※4}	<input type="checkbox"/> HDD <input type="checkbox"/> BD-RE <input type="checkbox"/> BD-R <input type="checkbox"/> RAM AVCREC <input type="checkbox"/> -R AVCREC	以下の設定に従って記録 「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」の 「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記 録時の音声選択」を記録したい音声にする
		<input type="checkbox"/> RAM VR <input type="checkbox"/> -R VR <input type="checkbox"/> -RW VR	両方の音声を記録
		<input type="checkbox"/> -R V <input type="checkbox"/> -RW V (ぴったり録画のみ)	以下の設定に従って記録 「DVD-Video 記録の設定」の「ぴったり録画の音 声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選 択」を記録したい音声にする
	ステレオ	記録先にかかわらず	ステレオ音声を記録

※4 外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力してください。

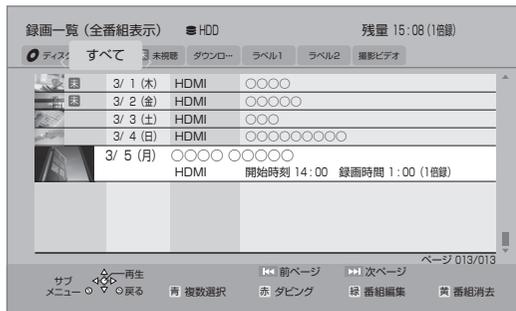
再生する

録画した番組を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

1  を押す

2 番組を選び、 を押す



●(まとめ表示のとき)

毎日・毎週予約した番組は、 番組内に録画されます。

 番組を選んで、[決定]を押すと、 番組内の番組を表示できます。

お知らせ

- 録画一覧は録画した日付順に表示されます。( 番組は、最初に録画した番組の日付で表示します)
- 録画一覧表示中に[赤]または[ダビング]を押すと、かんたんダビング (→35) を行うことができます。

撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を再生する

AVCHD

MP4 (SD カードのみ)

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

- 以下の動画の再生にも対応しています。
 - ・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録
 - ・AVCHD 3D

1  を押す

2 「メディアを使う」を選び、 を押す

3 ディスクを入れた場合：
「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、
 を押す (→手順 5 へ)

SD を入れた場合：
「SD カード」を選び、 を押す

4 「撮影ビデオ」を選び、 を押す

5 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ (AVCHD) を見る」を選び、 を押す

- 複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。再生したい撮影ビデオを選び、[決定]を押してください。

6 タイトルを選び、 を押す

- メニューが表示されないときは [0] ~ [9] で3桁入力してタイトルを再生してください。

お知らせ

- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

録画

再生

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

例)
ラベル
●[◀][▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

選択中のメディア

残量 / 録画モード
●変更するには (→24)

表示変更ができるラベル
●お好みに合わせて表示するラベルを変更することができます。

選択中の番組

ページ数
●[◀◀][▶▶] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。押したままにすると、素早く切り換わります。

(→35) (→48) (→33)

HDD 録画後すぐは「録画済」と表示 (画像は電源「切」時に作成されます)
●ディスクの場合、画像は表示されません。

お知らせ

- 録画一覧は録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

ディスク HDD	すべて	ディスク内の番組 (ディスクが入っている場合のみ表示) ● BD-V DVD-V では表示されません。
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「 未 未視聴」から除外されます。
	ダウンロード	ダウンロードした番組
	マイラベル	「マイラベル設定」で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。
	撮影ビデオ	ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画 (AVCHD、MP4)

再生中のいろいろな操作

停止

 **停止** を押す

(本体の [STOP] を押す)

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- **[HDD]** : 番組ごとに止めた位置を記憶
- **ディスク** : 前回止めた位置のみを記憶
 - ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
 - ・ **[BD-V]** **[DVD-V]** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

 **一時停止** を押す

(本体の [PAUSE] を押す)

- もう一度押す、または **[▶ 再生]** を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

 または  を押す

(本体の [REW] または [FF] を押す)

押すごとに、または押し続けたままにすると速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

 または  を押す

押した回数だけ番組や場면을飛び越します。

- チャプターマークがある場合は、その場面に飛びます。
- **[HDD]** まとめ再生中は、前後の番組も含めて飛び越します。
- **[MP4]** できません。

早見再生 (1.3 倍速)

 **再生** を約 1 秒以上押す

(本体の [PLAY] を約 1 秒以上押す)

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 **[1.3倍速/▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組、**[-RW]** (ファイナライズ後も含む)、**[MP4]** ではできません。
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

 または  を押す

(本体の [REW] または [FF] を押す)

押すごとに速度が遅くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、送り方向のみ働きます。
- **[MP4]** できません。

(→ 次ページに続く)

再生する (続き)

再生中のいろいろな操作 (続き)

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に



(左または右) を押す

押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り(戻し)します。
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を3D再生中、または [BD-V]、[AVCHD] では、コマ戻しはできません。
- [MP4] できません。
- 「スチルモード」で「フィールド」または「フレーム」に切り換えることができます。

音声の切り換え

音声切替 を押す

- 押すごとに、番組の内容によって切り換わります。
- [BD-V] [DVD-V] ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- [MP4] できません。

時間を指定して飛び越す (タイムワープ)

1 [タイムワープ] (+または-) を押す

- 押すごとに1分ずつ送り[+]、戻し[-]します。

飛び越し時間表示

約5秒間表示



2 [決定] を押す

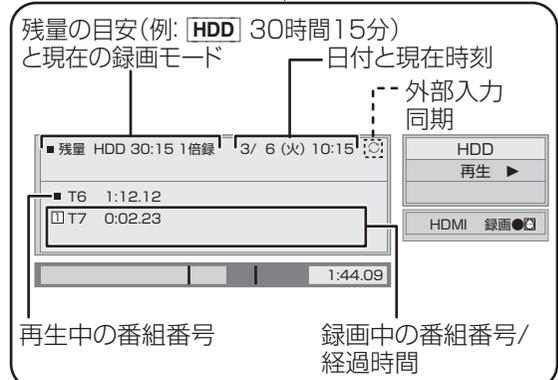
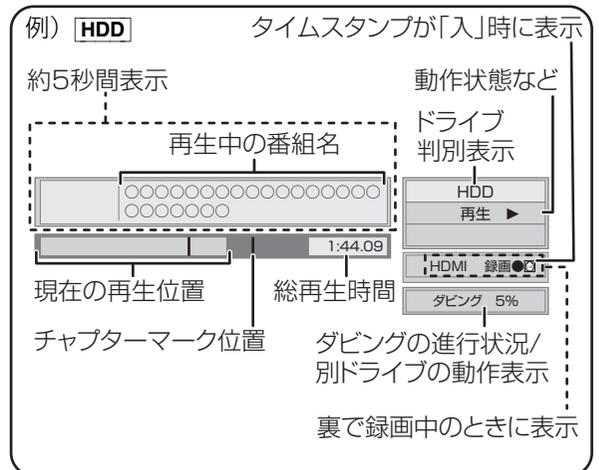
- [BD-V] [DVD-V] [AVCHD] [MP4] できません。

情報を表示する

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 [決定] を押す

- 押すごとに切り換わります。



画面表示なし

残量表示について

記録可能なおおよその時間を表示しています。

お知らせ

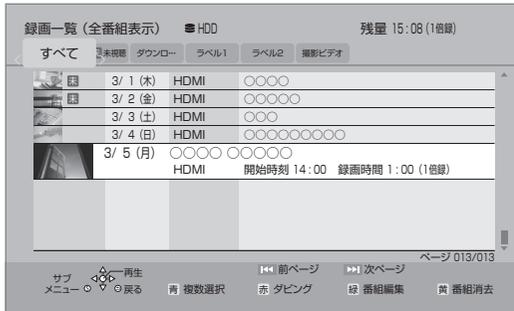
- ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部できない操作があります。

消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

1  を押す

2 番組を選び、**消去** または  を押す



●(まとめ表示のとき)

 番組内の番組を消去する場合、
[消去] または [黄] を押す前に、[決定] を押して、 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、 を押す

 再生中の番組を消去するには

- ① 番組を再生中に [消去] を押す
- ② 「消去」を選び、[決定] を押す

お知らせ

-  番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、
 番組は解除されます。(残った番組は録画した日付で表示されるようになります)
- **HDD** 消去すると、持ち出し番組も消去されます。(ダウンロードした番組を除く)
- **HDD** 消去中に他の操作をした場合は、消去に時間がかかることがあります。
- **HDD** 消去が完了しても、HDDの残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- 消去後のディスク残量について
 - ・ **HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW VR**
消去すると、消去した分、残量が増えます。
 - ・ **-RW V**
最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

<input type="checkbox"/> 消去しても残量は増えません	<input type="checkbox"/> 消去すると残量が増えます			
番組 1	番組 2	...	最後に記録した番組	残量

- ・ **BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

再生

ダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。

ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を選んでください。



- 難しい設定はせずに番組をダビングしたい
…**かんたんダビング** (→35)
- お好みの設定でダビングしたい
- FR モードで DVD の残量ぴったりにダビングしたい
…**詳細ダビング** (→37)



詳細ダビング (→37)

ディスクから HDD へのコピー制限のある番組のダビングについて (ムーブバック)

- DVD からはできません。
- BD からは移動になります。



(ディスクの番組は消去されます。ただし **BD-R** はディスク残量は増えません)

- BD-RE** **BD-R** 以下の番組は移動できません。
 - ・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組
 - ・**BD-R** ファイナライズしたディスク

🔗 **ダビングしたディスクを他の機器で再生するには**
(→18)

ダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD → **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

HDDにある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

2 を押す

3 「かんたんダビング」を選び、 を押す

- **RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、**[決定]** を押してください。

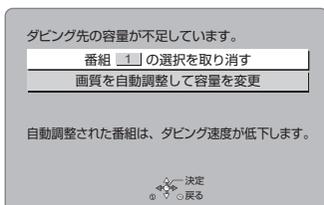
4 番組を選び、 を押す

- 複数の番組をダビングする場合、番組を選んで**[青]**を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には が表示されます。
もう一度**[青]**を押すと選択を取り消します。)



- ☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合
確認画面が表示されます。

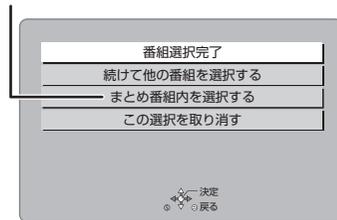
例)



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5 「番組選択完了」を選び、 を押す

手順4でまとめ番組を選んだときのみ表示

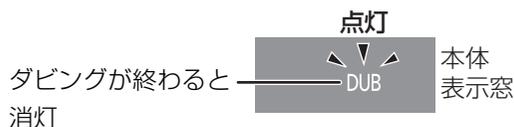


他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(→手順4へ)

6 「ダビング開始」を選び、 を押す

- オプション設定について (→36)

7 「はい」を選び、 を押す



新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

- ☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を3秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。

- ☞ ダビングの進行状況を表示するには

[画面表示] を押す

スタート画面の「ダビングする」を選んでも進行状況を確認できます。

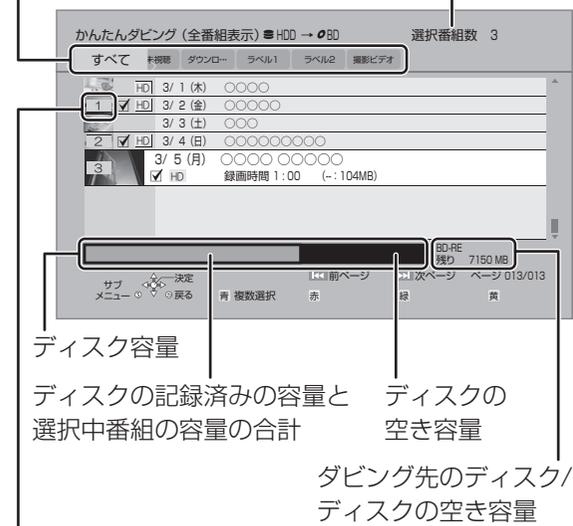
お知らせ

- 「DVD 画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
 - ・ **TR** の番組が含まれている場合 : VR 方式
 - ・ **TR** の番組が含まれていない場合 : ビデオ方式
- 1回にダビングできる番組は99番組までです。(まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が99番組を超えると、ダビングできません)
- プロテクト設定 (→48) されている **TR** の番組はダビングできません。
- **まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、**[サブメニュー]** を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。

ダビングする (続き)

かんたんダビングの画面の見方

異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。 選択中の番組数



選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

ダビングする画質について

HD 表示のある番組：

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

BD-RE **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**

- 以下のディスクはDVD画質でのダビングになります。

RAM VR **-R VR** **-R V** **-RW**

HD 表示のない番組：

- BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** にはハイビジョン画質でダビングします。(ただし画質は向上しません)

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面 (→35 手順 4) で

- 1 番組を選び、**S** を押す
- 2 項目を選び、**決定** を押す (→ 下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	<input checked="" type="checkbox"/> が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ●ダビング終了後自動電源 [切] ●ダビング終了後自動ファイナライズ (-R -RW のみ)
視聴制限一時解除*	「HDD番組の視聴制限」で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え*	表示順を変更します。(全番組表示時のみ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	表示を切り換えます。

※ 番組に が付いているときはできません。

詳細ダビング

ダビング方向：

- **HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**
- **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**
→ **HDD**

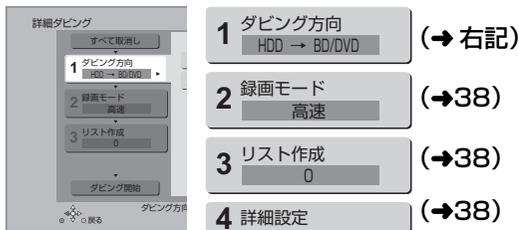
- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(→19)

1 **ダビング** を押す

2 「詳細ダビング」を選び、**決定** を押す

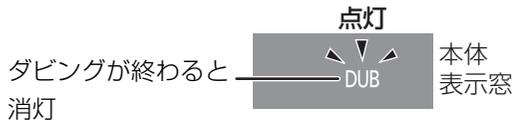
3 項目を選び、**[▶]** を押す

- 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



4 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

5 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、**決定** を押す

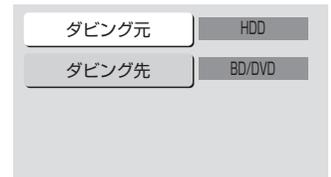


☞ ダビングを実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

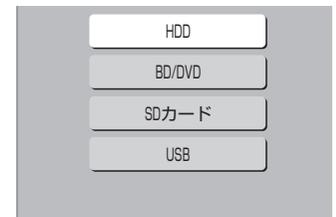
- ファイナライズ中は中止できません。

ダビング方向

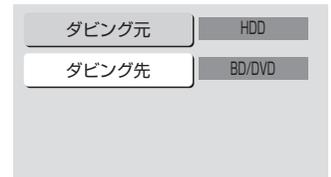
① 「ダビング元」を選び、**決定** を押す



② ダビング元を選び、**決定** を押す



③ 「ダビング先」を選び、**決定** を押す



④ ダビング先を選び、**決定** を押す



⑤ **[◀]** を押す (→ 左記手順3へ)

お知らせ

- **HDD** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は**まとめ**番組になります)
・ **①** 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

(→ 次ページに続く)

ダビングする (続き)

詳細ダビング (続き)

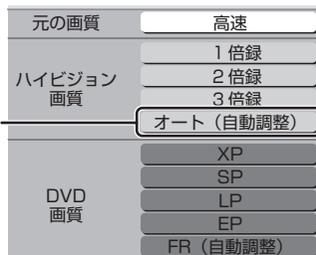
録画モード

- 1 「録画モード」を選び、**決定** を押す



- 2 録画するモードを選び、**決定** を押す

記録先の空き容量に合わせて、1.5～15倍録モードの中から自動で選択してダビングします。



- ハイビジョン画質を選択時に【サブメニュー】を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(→26)

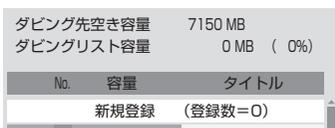
- 3 [◀] を押す (→37 手順3へ)

お知らせ

- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- RAM AVCREC** **-R AVCREC** 1倍録モードを選んでも、1.5倍録モードでダビングします。

リスト作成 (番組を選択する)

- 1 「新規登録」を選び、**決定** を押す



- 2 番組を選び、**青** を押す



- が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

☒ 選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

- 3 選び終わったあと、**決定** を押す

- 4 [◀] を押す (→37 手順3へ)

お知らせ

- 高速モードで **BD-RE** **BD-R** にダビングする場合、**HD** 表示のある番組のみ登録できます。
- ダビングリスト容量について (ダビング先に記録される容量)
・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

(**-R** **-RW** へダビングするときのみ)

- 1 「ファイナライズ」を選び、**決定** を押す
- 2 「入」または「切」を選び、**決定** を押す
- 3 [◀] を押す (→37 手順3へ)

(**BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** へ)

1～15倍録モードを選んでダビングするときのみ) 複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

- 1 「音声・字幕の記録」を選び、**決定** を押す
- 2 「モード1」または「モード2」を選び、**決定** を押す
 - モード1：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
 - モード2：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」で記録する内容を設定してください。

- 3 [◀] を押す (→37 手順3へ)

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→22) を行います。記録や編集をすることはできません。また、ダビング中は録画や再生はできません。

ダビングの便利な機能

リスト作成画面 (→38「リスト作成」手順②) で

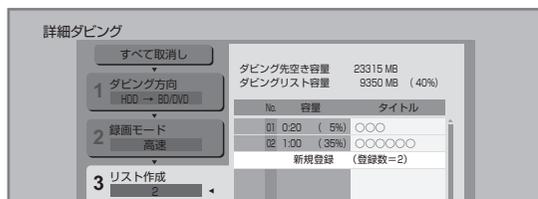


- ① 番組を選び、**サブメニュー** を押す
- ② 項目を選び、**決定** を押す (→ 下記へ)

内容確認*	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除*	「HDD 番組の視聴制限」で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え*	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

* 番組に が付いているときはできません。

リスト作成画面 (→38「リスト作成」手順①) で



- 登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、**[決定]** を押す
- リスト項目を入れ替える：
番組を選び、**[決定]** を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする：
[サブメニュー] を押したあと、項目を選ぶ
 - ・リスト全消去
 - ・追加
 - ・消去
 - ・移動

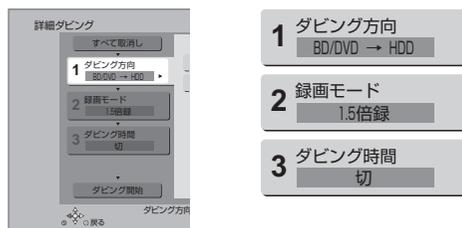
ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

DVD-V (ファイナライズ後の **-R V** **-RW V**) → **HDD**

- 1 **ダビング** を押す
- 2 「**詳細ダビング**」を選び、**決定** を押す
- 3 項目を選び、**[▶]** を押す
 - 操作方法は「詳細ダビング」(→37) をご覧ください。



以下のように設定してください。

- ・「**ダビング方向**」：「ダビング元」→「BD/DVD」
- ・「**録画モード**」：「録画モード」を選ぶ
(1 ~ 15 倍録のみ選べます)
- ・「**ダビング時間**」：ダビング時間を設定する (→40)
(→ 次ページに続く)

ダビング

ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) をダビングする (続き)

4 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

5 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」 を選び、**決定** を押す

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。



6 ダビングしたい番組の再生を始める

- ☞ トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[決定] を押す



- ☞ 好みの番組を再生するには

- ① [録画一覧] を押す
- ② 番組を選び、[決定] を押す

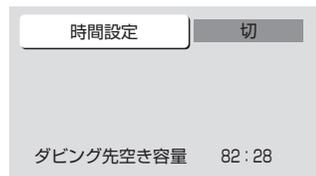
- ☞ ディスクの再生が始まらない場合は

- ① [▶再生] を押す
- ② (トップメニューが表示されたら)
番組を選び、[決定] を押す

- ☞ ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[戻る] を 3 秒以上押す

ダビング時間

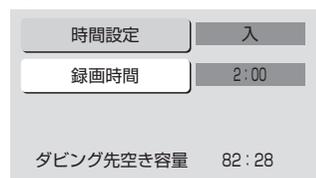
- ① 「時間設定」を選び、**決定** を押す



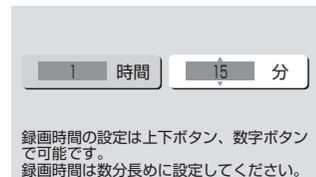
- ② 「入」または「切」を選び、**決定** を押す

- 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

- ③ 「録画時間」を選び、**決定** を押す



- ④ “時間” または “分” を選び [▲][▼] で設定し、**決定** を押す



お知らせ

- 市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ (→31) で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ダビング時の動作について

-R V **-RW V** に画質変更ダビングするときの動作

番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクにダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。

HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去 (→33) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の **BD-RE** **BD-R** の残量が少ない
- BD-RE** **BD-R** 以外のディスクへのダビング

部分消去した番組の画質変更ダビングについて

部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

3D 対応の番組のダビングについて

- 3D** 表示のある番組を **RAM VR** **-R VR** **-RW VR** に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
 - ・ダビング先の **BD-RE** **BD-R** の残量が少ない
 - ・**BD-RE** **BD-R** 以外のディスクへのダビング

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。

- BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**
RAM VR **-R VR** **-RW VR**
両方の音声を記録

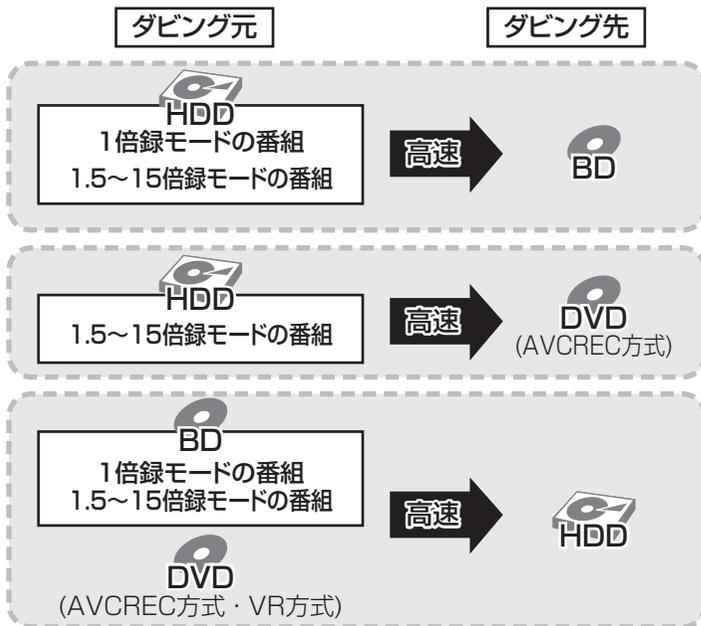
- R V** **-RW V** 以下の設定に従って記録：

「DVD-Video 記録の設定」の「ぴったり録画の音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

ダビング時の動作について (続き)

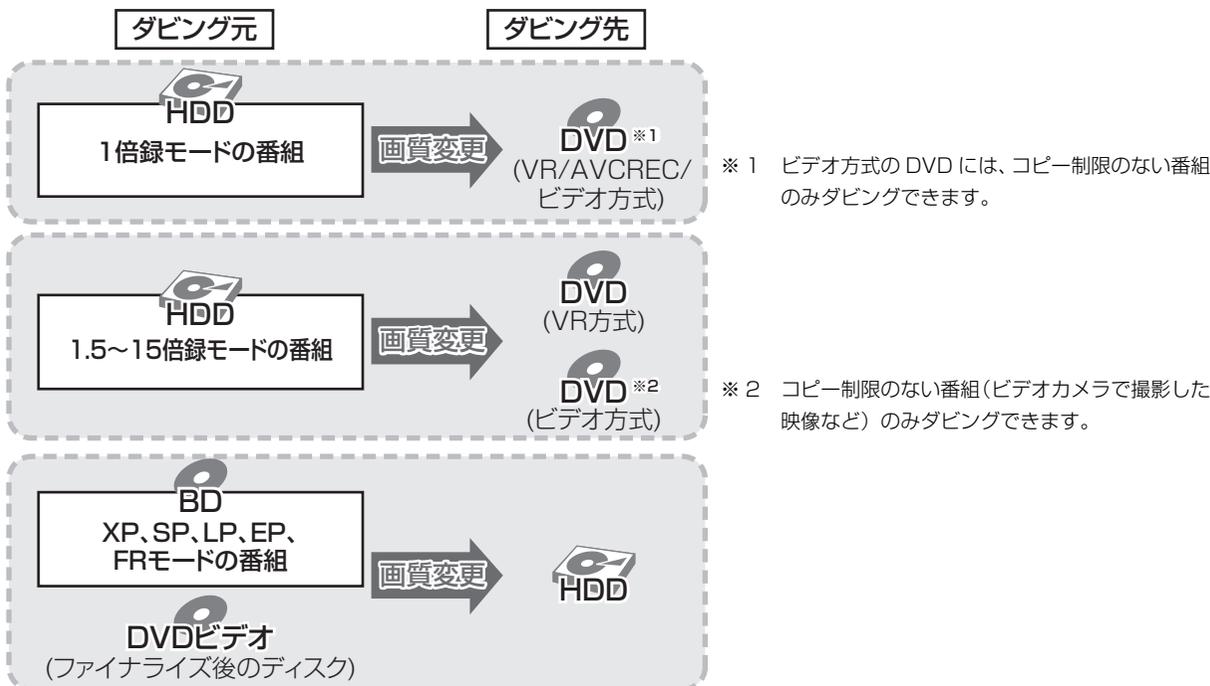
ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

高速でダビングできる場合



- 高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。
- ディスク容量を超えてダビングする場合やディスクに記録した機器によっては、画質変更ダビングになります。
- HDDにダビングしたXP、SP、LP、EP、FRモードの番組をディスクにダビングする場合、VR方式のDVDには高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。

高速でダビングできない場合 (画質変更ダビングになる場合)



*1 ビデオ方式のDVDには、コピー制限のない番組のみダビングできます。

*2 コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみダビングできます。

- ダビングする番組によっては、ダビング速度が遅くなることがあります。
 また、画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合もダビング速度が遅くなることがあります。

録画した番組を M2TS ファイルとして USB 機器に書き出す

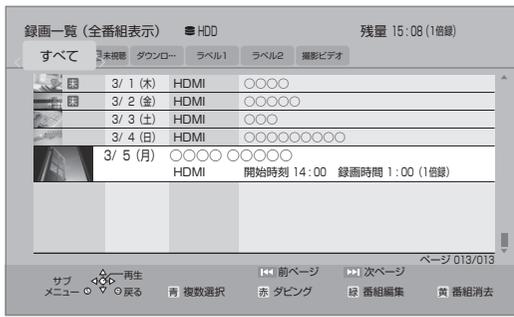
本機では、HDD に録画した番組を本機に接続した USB 機器に転送できます。

- 録画一時停止や番組編集を行った番組をUSB機器に転送すると、PC で正常に再生できないことがあります。

1 を押す

2 転送する番組を選び、サブメニュー を押す

例) **HDD**

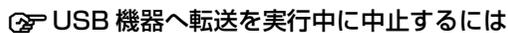


3 「USB 機器へ転送」を選び、 を押す

4 「開始」を選び、 を押す

USB 機器に書き出した M2TS ファイルは、以下の場所に保存されます。

例) 2014 年 3 月 31 日 8 時 48 分に書き出し操作をした場合
PRIVATE¥PANA_REC¥201403310848

 USB 機器へ転送を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

お知らせ

- USB 機器へ転送中は、録画や再生はできません。また、予約録画も実行されません。
- USB 機器へ転送しても、HDD から番組は消去されません。

ダビング

録画した番組を MP4 として書き出す (持ち出し番組)

本機では、録画した番組から HD 画質の MP4 動画を持ち出し番組として作成し、SD カードや USB 機器に書き出すことができます。

持ち出し番組を作成する

HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。

作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

1  を押す

2 作成する番組を選び、 を押す

3 「持ち出し番組の作成」を選び、 を押す

4 「かんたん転送の登録」を選び、設定する

- 「する」に設定しておく、「かんたん転送」(→45)で自動的に転送することができます。

5 「開始方法」を選び、設定する

- すぐに：
右記手順 7 の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- 電源 [切] 後：
電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

6 「作成する」を選び、 を押す

7 「すぐに」作成を開始する場合：

「開始」を選び、 を押す

- 本機の動作状態によっては、持ち出し番組の作成にかかる時間は表示時間と異なる場合があります。

 作成を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

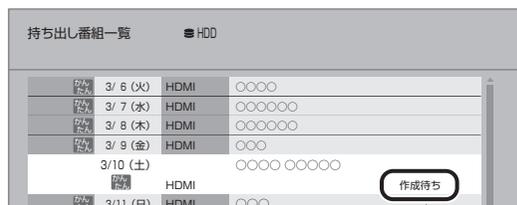
「電源 [切] 後」作成を開始する場合：

 を押す

 作成の設定内容を変更・取り消すするには

手順 3 のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す

 作成が終了しているか確認するには



持ち出し番組一覧 (→45) で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

お知らせ

- コピー制限のある番組は、「持ち出し番組」を作成できません。
- 持ち出し番組のファイルは、録画時間 / 画質設定によって、自動で分割されることがあります。
- 持ち出し番組は作成する番組によって、設定した画質よりも低い画質で作成されることがあります。

持ち出し番組作成の便利な機能

■ MP4 自動作成 (→13)

「入」に設定すると、電源「切」中に自動的に MP4 を作成します。ただし、「入」に設定する前に録画済みの番組は自動的に変換しないため、録画一覧から持ち出し番組を作成してください。

SDカード/USB機器に書き出す

かんたん転送

「かんたん転送」の登録をした番組をすべて転送します。(最大99番組まで転送可能)

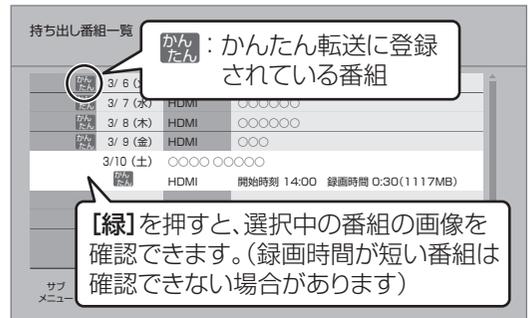
登録した番組は、持ち出し番組一覧(→右記)で確認することができます。

●登録は、持ち出し番組の作成時(→44)または作成後(→46)に行うことができます。

- 1 **スタート** を押す
- 2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す
- 3 「SDカード」または「USB機器」を選び、**決定** を押す
- 4 「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、**決定** を押す

持ち出し番組一覧から転送する

- 1 **スタート** を押す
- 2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す
- 3 「SDカード」または「USB機器」を選び、**決定** を押す
- 4 「持ち出し番組一覧(選んで転送)」を選び、**決定** を押す
- 5 番組を選び、**青** を押す



● が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

☒ 選択を取り消すには
番組を選び、[青]を押す

- 6 選び終わったあと、**決定** を押す
- 7 「転送を開始する」を選び、**決定** を押す

録画した番組を MP4 として書き出す (持ち出し番組) (続き)

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」(→45)
手順 4 のあと

5 番組を選び、 を押す

6 項目を選び、 を押す (→ 下記へ)

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。 (→45 手順 7 へ)
持ち出し番組 消去	持ち出し番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の 設定	「かんたん転送」(→45) の登録 をします。 ( が表示されます)
かんたん転送の 解除	「かんたん転送」(→45) の登録 を解除します。
視聴制限一時 解除	「HDD 番組の視聴制限」 で設定された視聴制限を一時的 に解除します。画面の指示に 従って暗証番号を入力してくだ さい。

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
 - ・ 通常の番組の再生はできません。
 - ・ 録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置 (→31 「続き再生メモリー機能」) とチャプターマークを通常の番組から引き継ぎます。
 - ・ 作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
 - ・ 位置は多少ずれる場合があります。
- 消去中に他の操作を行うと消去に時間がかかる場合があります。
- 1 つの番組が複数の MP4 ファイルに分割されている場合でも、持ち出し番組一覧では 1 番組として表示されます。

書き出した番組を確認する

MP4 画質で SD カードや USB 機器に書き出した番組は、以下の手順で確認することができます。

- 1  を押す
- 2 「メディアを使う」を選び、 を押す
- 3 「SD カード」または「USB 機器」を選び、 を押す
- 4 「撮影ビデオ」を選び、 を押す
- 5 **SD を確認する場合：**
「撮影ビデオを見る」を選び、 を押す
USB を確認する場合：
「選んで取り込み」を選び、 を押す
● 複数種類の撮影ビデオが SD カードや USB 機器に存在している場合、メッセージが表示されます。
「MP4」を選び、**[決定]** を押してください。

SD カードまたは USB 機器に書き出した MP4 動画は、以下の場所に保存されます。

例) 2014 年 3 月 31 日 8 時 48 分に書き出し操作をした場合

PRIVATE¥PANA_REC¥201403310848

DVD-Video 形式でダイレクト録画する（ぴったり録画）

録画した番組を新品のDVD（4.7 GB）にぴったりダビングできるように設定時間に合わせて自動的に最適な画質で録画します。

● **-R V** **-RW V**

FR モードで録画します。

1 **SDI** **HDMI** **アナログ** を押して、入力を選ぶ

- 本体の **[INPUT]** を押して、入力を選ぶこともできます。

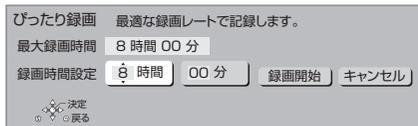
2 **スタート** を押す

3 「ぴったり録画」を選び、**決定** を押す

4 「ディスクに録画」を選び、**決定** を押す

5 “時間” または “分” を選び、録画時間を設定する

- 8 時間を超えて設定することはできません。



6 接続した機器で再生を始め、 「録画開始」を選び、**決定** を押す

録画の残り時間を確認するには

[画面表示] を押す

例)



録画の残り時間

録画を一時停止するには

[|| 一時停止] を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

お知らせ

- 「ぴったり録画」中は
 - ・ 予約録画が始まると、ぴったり録画を中断します。
 - ・ 追っかけ再生、同時録画再生、入力切換はできません。
- **-R** 記録や編集を約 30 回行くと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。
- **-R V** **-RW V** 「ぴったり録画」後にファイナライズ (→22) を行くと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。
- 片面 2 層の **-R V** は、ぴったり録画はできません。
- **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** 残量に合わせて 1.5 ~ 15 倍録モードのいずれかで録画します。(24 時間を超えて設定することはできません)
- **HDD** (左記手順 4 で「HDD に録画」を選ぶ) 設定時間に合わせて 1.5 ~ 15 倍録モードの中から自動的に最適な画質で録画します。(6 時間を超えて設定することはできません)
- **RAM VR** **-R VR** **-RW VR** 残量に合わせて FR モードで録画します。(8 時間を超えて設定することはできません)

編集する

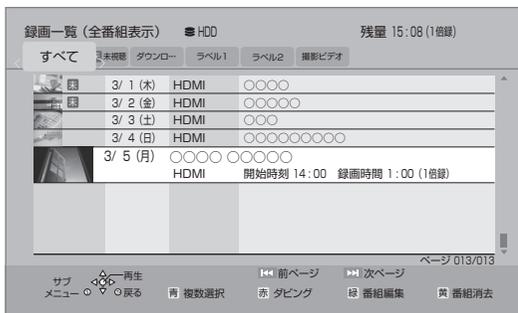
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW

(ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません)

1 を押す

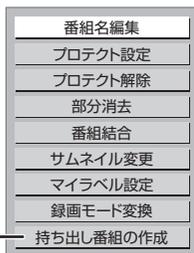
2 番組を選び、を押す

例) **HDD**



3 項目を選び、を押す (→右記へ)

例) **HDD**



(→44)

番組名編集

お知らせ

- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。
- **まとめ** 番組の番組名を変更しても、**まとめ** 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消さないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

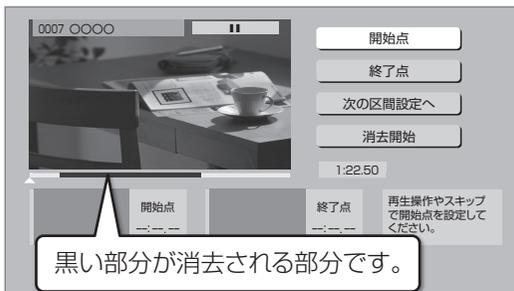
- **-R V** **-RW V** できません。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**[決定]**を押す

- プロテクト設定すると「」が表示されます。

部分消去

- **-R V** **-RW V** できません。



- ① **[▶ 再生]**を押して、再生を始める
 - ② **[開始点]**を選び、消去する部分の開始点*で**[決定]**を押す
 - ③ **[▶ 再生]**を押して、再生を始める
 - ④ **[終了点]**を選び、消去する部分の終了点*で**[決定]**を押す
 - 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]**を押す (→手順②へ)
 - ・20区間まで設定できます。
 - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。
 - ⑤ **[消去開始]**を選び、**[決定]**を押す
 - ⑥ **[実行]**を選び、**[決定]**を押す
- 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→31) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **[|| 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」(→44) の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

- ① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDDの回転が完全に止まってから（3分程度待つてから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。また、リモコンにはアルコールを使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、レンズクリーナー（RP-CL720A）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから3分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報が記録されています。

廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「工場出荷設定」を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行います。修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。

HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼される時にご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

取り扱いについて (続き)

HDD (ハードディスク)・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング (バックアップ) を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容 (データ) の修復はできません。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ず守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



●カード

- ・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ (大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

ディスク、カード

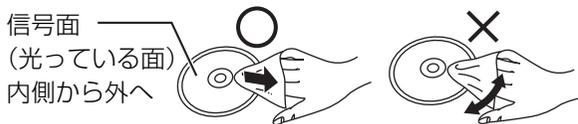
持ち方



信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



信号面
(光っている面)
内側から外へ

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー (別売) のご使用をお勧めします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご参照ください。DTS Licensing Limited からの実施権に基づき製造されています。DTS、DTS-HD、シンボルマークおよび DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD Master Audio | Essential は DTS, Inc. の商標です。
© DTS, Inc. 無断複製・転載を禁じます。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
-  および「acTVila」、[アクトビラ] は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- “Wi-Fi[®]” は “Wi-Fi Alliance[®]” の登録商標です。“Wi-Fi Protected Setup[™]”、“WPA[™]”、“WPA2[™]” は “Wi-Fi Alliance[®]” の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア (株) のモバイルWnnを使用しています。“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD 3D/Progressive” はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo” は DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
 - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
 - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia[™] は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[スタート] ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する・その他の機能” → “情報・診断コード” → “情報” → “ID表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。



ネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- アクトビラなどのインターネットサービス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品の初期設定画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<http://panasonic.net/avc/oss/>

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(PDFの取扱説明書*→145～152)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

※ PDFの取扱説明書については

<http://panasonic.biz/nwav/> をご参照ください。

- 製品名 デジタル入力レコーダー
- 品番 DMR-MC500
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

[ただし、光ピックアップ部(またはドライブユニット)、電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます]

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

必要なとき

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

英数字	ページ
■ AVCHD	
再生する	29
■ AVCREC 方式	16
■ DVD 画質	26
■ FR (フレキシブルレコーディング)	26
■ HDD	
取り扱い	50
■ HDMI	
モニター・テレビと接続	9
■ HD-SDI	
SDI 端子から出力する	9
SDI 端子から入力する	10
■ MP4	
書き出す	45
再生する	29
■ SDI	
モニター・テレビと接続	9
■ SDカード	
撮影ビデオを見る	29
フォーマット	19
持ち出し番組の転送	45
■ USB-HDD	
接続する	23
■ USB 機器	
USB 機器へ転送	43
持ち出し番組の転送	45
■ VR 方式 (DVDビデオレコーディング規格)	16

あ 行	ページ
■ 追っかけ再生	25
■ お手入れ	49
■ 音声	
音声を切り換える (再生時)	32

か 行	ページ
■ かんたんダビング	35
■ かんたん転送	45
■ 記録方式	16
■ コマ送り/コマ戻し	32

さ 行	ページ
■ サーチ	31
■ 再生する	
撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	29
番組	29
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	
再生する	29
■ サブメニュー	
かんたんダビング	36
持ち出し番組一覧	46
録画一覧 (編集)	48
■ 時刻合わせ	12
■ 消去する	
全番組消去 (ブルーレイディスク、DVD)	21
番組	33
持ち出し番組	46
■ 詳細ダビング	
番組をダビングする	37
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) をダビングする	39
■ スキップ	31
■ スロー再生	31
■ 操作状態の表示 (情報表示)	
再生時	32

た 行	ページ
■ タイムワープ	32
■ 他機器での再生について	18
■ 他の BD 機器再生 (ファイナライズ)	22
■ 他の DVD 機器再生 (ファイナライズ)	22
■ ダビング	
かんたんダビング	35
詳細ダビング	37
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) (詳細ダビング)	39
■ 続き再生メモリー機能	31
■ ディスク	
記録できるディスク	16
名前を付ける	21
フォーマット	19
プロテクト	21
■ 同時録画再生	25

な 行

ページ

- 名前を付ける
ディスク 21
番組 48
- 二重音声
音声の記録について 28

は 行

ページ

- ハイビジョン画質 26
- ハイビジョン動画 (AVCHD)
再生する 29
- 早送り・早戻し (サーチ) 31
- 早見再生 (1.3倍速) 31
- 番組
再生する 29
消去する 33
名前を付ける 48
プロテクト 48
編集する 48
- 番組持ち出し 44
- ぴったり録画 47
- ビデオ方式 (DVDビデオ規格) 16
- ファイナライズ
ファイナライズ解除 22
他のBD/DVD機器再生 (ファイナライズ) 22
- フォーマット (初期化) 19
- 部分消去 48
- プロテクト (書き込み禁止)
ディスク 21
番組 48
- 編集する
番組 48

ま 行

ページ

- ムーブバック (詳細ダビング) 34、37
- 持ち出し番組
SDカードを確認する 46
書き出す (転送する) 45
作成する (録画後) 44

ら 行

ページ

- 録画中に再生する
(追っかけ再生/同時録画再生) 25
- 録画モード 26
録画モードを選ぶ 24

本機の使用、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検		長年ご使用のデジタル入力レコーダーの点検を！	
	こんな症状はありませんか	<ul style="list-style-type: none">● 煙が出たり、異常なおいや音がする● 映像や音声が出ないことがある● 内部に水や異物が入った● 変形や破損した部分がある● その他の異常や故障がある	ご使用中止 故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2014

SQT0356
F1014TA0